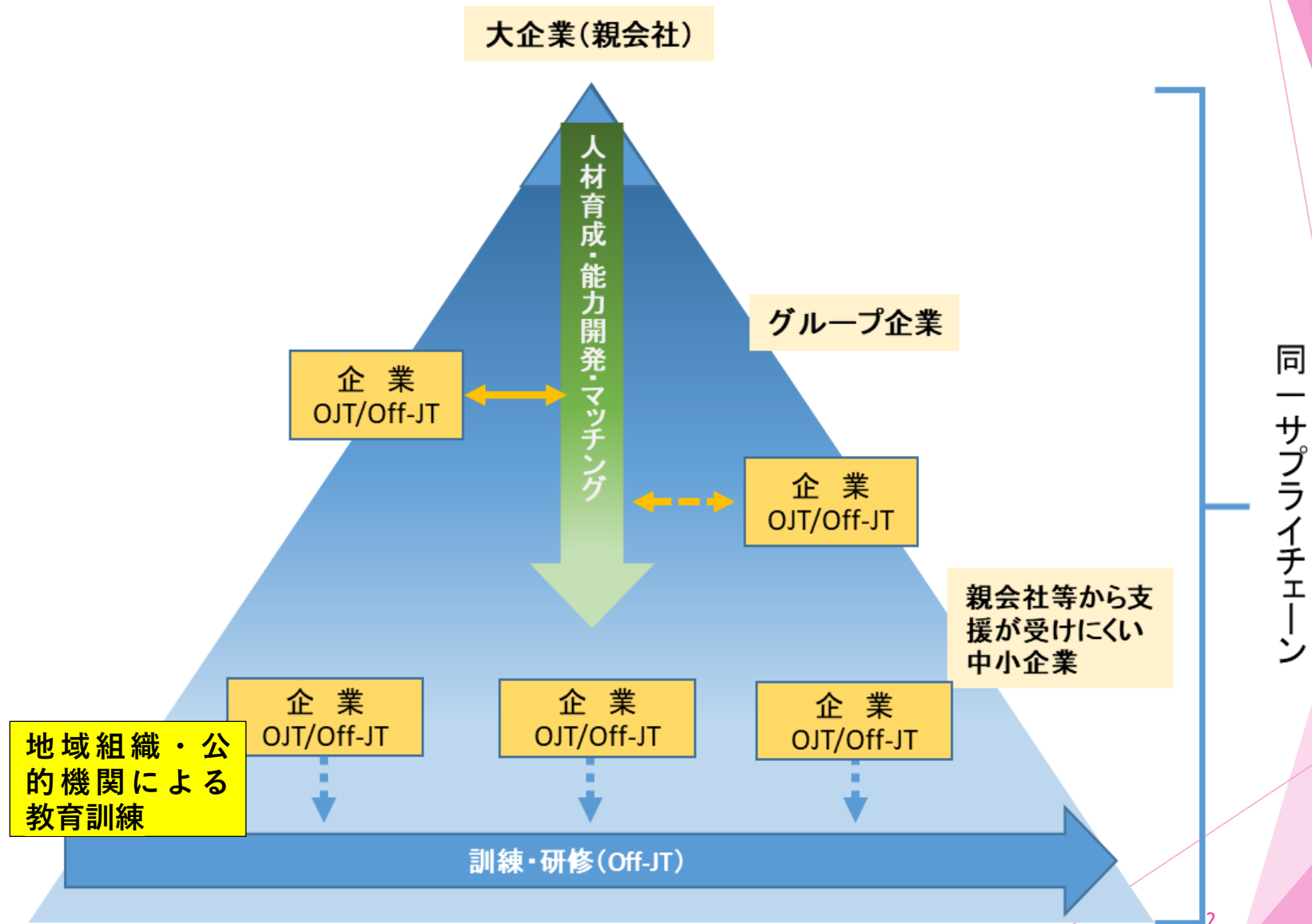


# 第3章 地域の人材育成

## — 中小零細企業のエデュケーション

立正大学 戎野淑子

図表1 グループ企業、サプライチェーンの人材育成・能力開発の状況



出所：拙稿「総論」『人材育成と企業連携』

# 1、目的：小規模・零細企業の人材育成

- ・日本の産業を底辺から支える
- ・地域産業



人材育成

- ・予算、人手不足
- ・教育の外部委託

地域に根差して職業教育・訓練を実施している組織

# 地域に根差した教育組織

(企業連携)

- ・機能
- ・役割

愛媛県東予地域 (プラントメンテナンス、製造業)

浜松市を中心に静岡県西部地域

(輸送用機器や光学機器などの製造業)

新潟県燕三条地域 (金属製品、洋食器製造)

近畿圏 (大阪、京都、兵庫、滋賀、和歌山、奈良) (情報電子産業)

## 2、分析の枠組み

### <特徴>

- \* 共通性を見出し、特徴を整理
- \* 社会的役割、将来性を検討

(1) 教育訓練の企画と運営の仕組み  
ニーズ、連携

(2) 教育訓練の内容の特徴：目指す人物像

### 3、調査結果の分析

#### (1) 教育訓練の企画と運営の仕組み

- 1) 教育内容の企画
- 2) 教育環境の構築と研修の運営

#### (2) 教育訓練の内容の特徴: 目指す人物像

- 1) 教育訓練の範囲
- 2) 教育の質

# 浜松地域

## 公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構

産官学の交流・連携により、浜松地域はもとより静岡県産の産業の発展を目的  
いくつか支援事業があり、その一つが人材の育成

(背景)

### ①人材の確保問題

- ・労働力減少・・・量的な問題
- ・新たな知識・技術を身につける必要性・・・質的な問題

### ②産業構造の転換への対応

新技術への対応が中小企業の生き残りを左右

# 1、事業推進部

## <企画>

- ・企業の意向から研修を企画
- ・企業抱える課題解決に向けた企画
- ・担当者の提案による企画

## <内容>

- ・製造の中核人材
- ・現場力向上を目指した
- ・企業力向上:新分野への進出を目指した製品開発

# 2、次世代自動車センター

自動車産業の活性化を目指す。

中小企業の提案力と収益性の向上を図るための支援の一つが人材の育成

## <企画>

- ・企業ニーズ
- ・担当者の提案による企画



## <内容>

- ・自分の技術や知識を明確にして自分を知り、それを前提に新たなアイデアを生み出し新製品を創作できるように育成。オリジナル製品を生み出す。
- ・車両やパワートレインを分解、部品を展示、貸出等々

## 3、フotonバレーセンター

光・電子技術や情報技術を利用して、既存産業の高度化、生産性向上、新産業の創出

## <企画>

- ・企業や行政のニーズ
- ・スタッフの提案
  - ・・・技術について中小企業の認識がまだ不十分。これからの成長が期待される

# 愛媛東予地域

## えひめ東予産業創造センターの取り組み

プラントメンテナンス業の強化・ブランド化

### <企画>

- ・育成体系に基づく定型的・・・10年で一人前に育てる

4レベル

OJT, 資格の取得、職業能力の評価

- ・企業や団体のニーズ・・・新入社員研修

### <内容>

- ・受講企業への訪問も含めたフォローアップ

# 一般社団法人 新居浜ものづくり人材育成協会

団塊の世代の技術者・技能者の大量退職による技術・技能の継承

在職者研修が中核

企業ニーズにより作成

出張講座

オーダーメイド研修

# 燕三条地域

\*以下の3つの組織の「研修ガイドブック」

## 公益財団法人 燕三条地場産業振興センター

活力ある地域経済社会の構築、地域住民の生活向上と福祉の増大を目指し多岐にわたる事情を実施。その中に「企業人材育成事業」がある。

<企画>

- ・企業や受講者の声を吸い上げる
- ・抱えている課題や求めている能力・技術から具体的に割り出して対応
- ・マッチング事業から必要な技術やスキルアップの必要性をくみ取る

# 新潟県立三条テクノスクール

## <企画>

- ・ほかのテクノスクールと揃えてある
- ・オーダーメイド

## <内容>

- ・企業ニーズ
- ・個人のニーズ
- ・県のニーズ

# 独立行政法人 中小企業大学校 三条校

経営者、管理者、個人事業主を対象

## <内容>

自分のなるべき管理職像を見出し、行動していくためのイメージまで構築

# 近畿圏

## 関西電子情報産業協同組合

システムハウス・ソフトハウス企業が共同で事業を行うことにより、  
経済地位の向上と業界の発展成長を図ることを目的

6つの委員会

人材育成：人材育成委員会、経営力向上委員会

<企画>事務局がコーディネート

新人研修：実践型人材育成システム

・PDCAサイクル：委員長と副院長が確認し講師へフィードバック

OFF-JT（4～6月）、OJT（7～9月）

フォローアップ研修（9～3月） ・ ・ オンライン \*ニーズを反映

# (1) 教育訓練の企画と運営の仕組み

## 1) 教育内容の企画

図表2 教育訓練の企画の類型

経営者・従業員 (技術者) 等のニーズにより作成	① 定型的な内容：教育プログラムが体系化（歴史的に） 大きな変更はなく微調整
	② 現在のニーズを反映：顕在化されたニーズ (具体的な教育内容の要望)
	③ 課題をニーズとしてくみ取る：潜在的なニーズ (スタッフがニーズ化している)
社会動向や 技術の進歩 により作成	④ この先、必要になる。まだその認識がない、 あるいは薄い
	⑤ 活用方法が明確でないが、課題解決などに つながる可能性がある啓蒙啓発、PR的

融合

出所：拙稿「第3章 地域の人材育成」『人材育成と企業連携』

ex.

## ①定型的な内容：教育プログラムが体系化

えひめ東予産業創造センターのプラントメンテナンス事業、  
関西電子情報産業協同組合の新人研修など。

## ②現在のニーズを反映：顕在化されたニーズ

すべてが該当。

一般的な研修のほか、委託研修、オーダーメイド研修など、  
種類も多様

## ③課題をニーズとしてくみ取る：潜在的なニーズ

浜松地域イノベーション推進機構の事業推進部、  
燕三条産業人材センターなど。

④が組み込まれているものもある



④この先、必要になる。まだその認識がない、あるいは薄い

浜松地域イノベーション推進機構の次世代自動車センター、  
燕三条産業人材センターなど

⑤活用方法が明確でないが、課題解決などにつながる可能性が  
ある啓蒙啓発、PR的

浜松地域イノベーション推進機構のフotonバレーセンター

注：明確に分かれるものの他、それぞれが影響をうけて  
融合的に機能しているものもあり、どちらの傾向  
がより強いかによって区分し、特徴を示した

## 2) 教育環境の構築と研修の運営

### ①大企業を中心に構築

愛媛東予地域(大手化学メーカー)、浜松地域(大手完成車メーカーなど)

- ・大企業が、教育内容、講師、設備の提供等に大きな役割

### ②中小企業の集合体

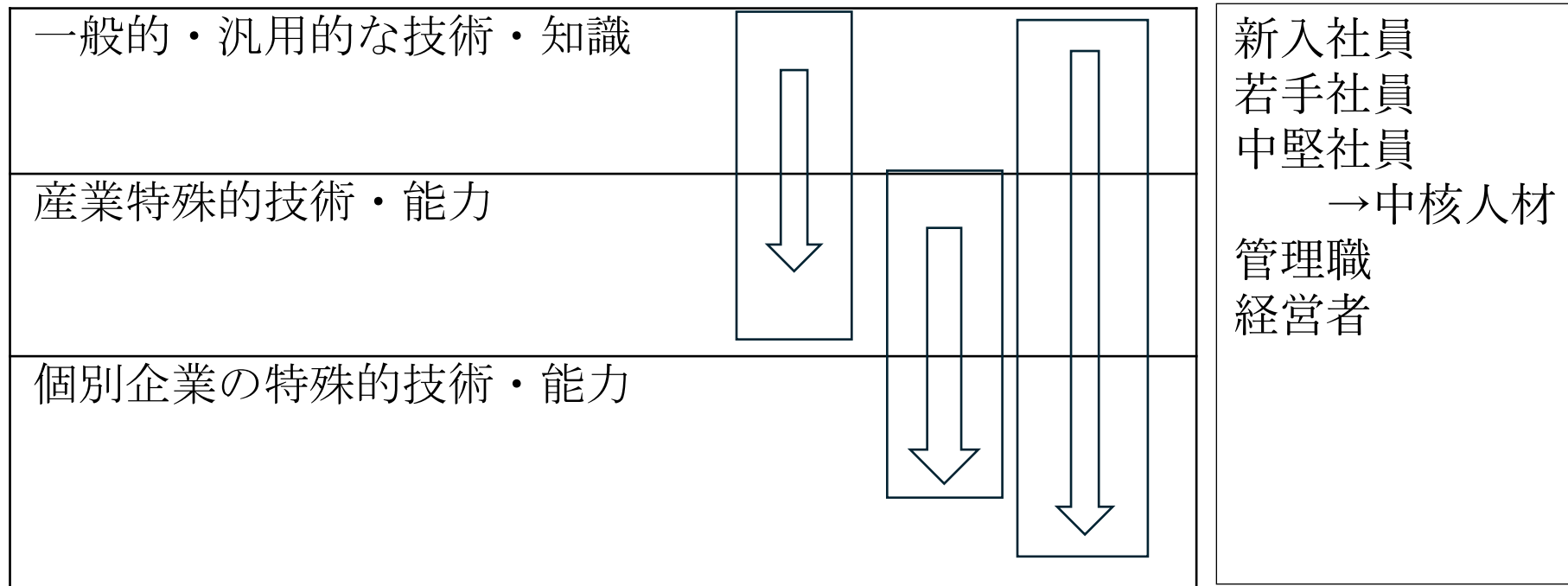
燕三条地域(金属製品、洋食器産業、近畿圏(情報電子産業協同組合))

- ・事務局などハンドリングを行う機関を中心に、学校や公的機関、そして、  
中小企業間での密な連携

## (2) 教育・訓練の特徴: 目指す人物像

### 1) 教育訓練の範囲

図表3 教育訓練の範囲



注 矢印は、具体的な落とし込み、あるいはオリジナルなものへの発展・転換

拙稿 「第3章 地域の人材育成」 『人材育成と企業連携』

## 2) 教育の質

- ・講師：ベテラン、第一線で活躍している人材
- ・経験豊富なスタッフと講師との協力体制
- ・受講者や経営者の声を拾い、丁寧な研修作り
- ・多様な教育方法

講義、ディスカッション、自主研究(貸し出し)等々

- ・フォローアップ(講義後)
- ・職場訪問
- ・個々の企業への対応・・・オーダーメイド

# おわりに

幅広く、深い内容

(基礎的、定型的な共通した内容から

最新技術、唯一無二の新商品、サービスを生み出す能力養成まで)

スケールメリットを活かしつつ、個々へのきめ細かい対応

地域の企業、諸組織の連携、支援

経験豊富かつ高度な専門知識を有したスタッフと講師

## <課題>

限られた企業の活用

今後も持続的な組織 : スタッフ、講師・・技能継承、人手不足

ご清聴、ありがとうございました。